

第2課題

砂漠化防止計画の作成

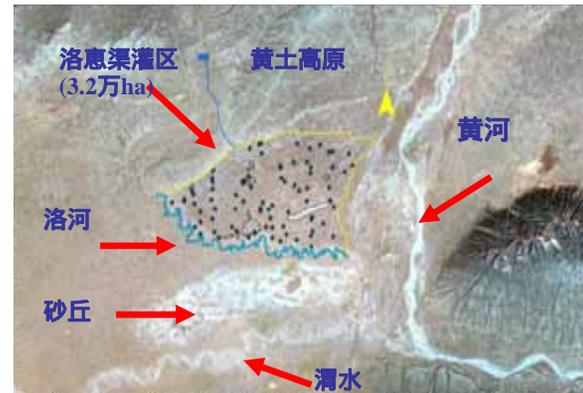
他の4課題と連携を取りながら、各課題の成果を取り込んで、総合的な砂漠化防止対策を立案提示することが目的ですが、特に、砂漠化の一つの象徴でもある塩類集積に着目して研究を進めています。研究対象地区は、黄土高原に源流を持つ洛河下流域に位置する洛惠渠灌区で、この地区では塩類集積問題が最大の課題です。この問題解決に向けて、農地での灌漑と地下水挙動が塩類集積に及ぼす影響を解明し、その上で農地の塩性を防止するための水管理・圃場管理技術の開発を目指しています。



土壤間隙水の電気伝導度を測定して、農地における塩類集積状況を測定します。



約80箇所の地下水位、水質を定期的に観測します。



洛惠渠灌区の位置を示す衛星画像です。地区内の小さな黒い点は地下水観測点（約80点）を示します。